

第53期第6回常任幹事会 報告

日時：2023年10月26日(木)13:30～15:30

会場：東京労働会館5階地評会議室

出欠：吉田、稲葉、加藤(年)、塩野、白滝、阿久津、山根、相川、秋元、市橋、小形、
岡本、加藤(都)、加藤(教)、木崎、工藤、國米、佐久間、田村、築館、中山、
細見、前沢、森松、吉野、小川、窪田

オブ：坂本、高橋、阿久津(都)

14/27 (●会場、□リモート、__欠席)

議長：小川

会長挨拶

ロシアとウクライナ軍隊同士の戦いだが、パレスチナとイスラエルは虐殺に近い状態になりつつあり、子ども達の死者も多く胸が痛い、一刻も早い停戦が望まれます。日本では、選挙が近いのか？その対策として急に減税を政府は言い始めました。生活が苦しい人には所得税減税は意味がない、筋が違うと思います。消費税減税が一番助けになると思います。近くの選挙事務所も人の出入りが始まりました。その一、二か月後には選挙があることが多いのですが、世論の動向を見ながら選挙をやるのだと思いますが、そんな雰囲気が出てきます。コロナは少し減っていますが、インフルエンザがそれを上回る勢いで増えており、近くの学校でも学年閉鎖が続いています。みなさんも体に気をつけてください。

加盟団体の活動交流

1) 東京都教職員組合

*今回で都段階からの幹事団体すべての交流が終了する予定でしたが、今回も欠席とのことでしたので、次回以降の都教組の活動交流を経て、常任幹事会における団体交流は終了し、次のステップを検討したいと思います。

I、報告

0、常任幹事交代について

東京地評の任務変更により、白滝誠さん(東京社保協常任幹事・副会長)が井澤智さん(東京地評事務局長)に交代するとの連絡を9月27日に頂きました。井澤さんには引き続き副会長としての任をお願いしたいと思います。

1、活動報告

09月28日(木)15:30～ 人権としての医療介護東京実行委員会

10月03日(火)13:30～ 都民生活要求大運動実行委員会幹事会 5階会議室

20231026第6回常任幹事会

- 04日(水)10:00～ 中央社保協第3回介護・障害者部会
13:30～ 中央社保協第3回運営委員会 医労連会館2階+Web
18:00～ いのちのとりで運営委員会 オンライン
- 07日(土)14:00～ 新生存権裁判原告を励ますつどい 地域保健企画ビル6階
- 09日(日)13:30～ 全国介護学習交流集会 全労連会館2階+Web
- 11日(水)10:00～ 介護をよくする東京の会事務局会議 5階会議室
13:30～ 都広域連合についての学習会 2階会議室
- 14日(土)12:00～ 4の日宣伝 巣鴨駅
- 16日(月)13:30～ 新生存権裁判口頭弁論・報告会
- 19日(木)13:00～ いのちまもる総行動 日比谷野外音楽堂
- 21日(土)10:00～ 第50回東京社保学校 けんせつプラザ東京+Web
- 25日(水)18:00～ 中央社保協第4回代表者会議 Web
- 26日(木)13:30～ 東京社保協第53期第6回常任幹事会

2、中央社保協、加盟団体の取り組み

(1) 中央社保協

中央社保協第3回運営委員会報告

資料:1～5

(2) 加盟団体・友誼団体の総会・学習会など

- 9月30日(土)10:00～ 西東京高齢期運動連絡会 社会保障学習会 林さん
14:00～ 足立社保協総会・マイナ保険証学習会 窪田
- 10月07日(土)14:00～ 葛飾高齢者懇談会 介護保険学習会 高梨さん
13日(金)18:30～ 東京医労連70周年記念レセプション
アルカディア市ヶ谷 小川
- 14日(土)14:30～ 西都保健生協 マイナ保険証学習会 窪田(Web)
- 18日(水)14:00～ 東京保健生協 マイナ保険証学習会 窪田
- 23日(月)18:30～ えどがわ革新懇 マイナ保険証学習会 窪田
- 24日(火)14:00～ 北多摩東退職教職員の会 マイナ保険証学習会 窪田

(3) 事務局・幹事団体

1) 人権としての医療・介護東京実行委員会

- ①事務局会議 9月28日(木)16:00～17:15 5階地評会議室
- ・地域医療調整会議での論議結果により紹介受診重点医療機関が8月に公表された
 - ・医労連は7～9月にケア労働者の処遇改善・増員を求める宣伝とデモを新宿で実施した。また、ケア労働者の処遇改善を求める請願を都や各自治体議会へ提出する。
 - ・連絡会は独法化後の都立病院の状況を知らせつつ、都議会各会派に要請している

20231026第6回常任幹事会

- ・都立病院機構が「行政的医療を果たしている」との中間評価を出した。都職員に準じていた給与が公立でなくなったことにより崩れている。
- ・保険医協会は、9月初旬に都と懇談した。職員採用は病院長に丸投げ。都予算は従来通り。個室料は2.2～2.8万円で696床。
- ・台東病院を守る会は、8/26に総会開催し、40名が参加。前沢さんが講演した。病院存続の区長表明を改めて得るために陳情を出したい。区は設備投資している。

②協議事項

- ・新介護署名の取り組みを来年通常国会予算審議前までに
- ・都の主体性を発揮させるような政策提言をする必要がある。
- ・医療関連協の宣伝：9/30, 11/25, 12/16(土) 上野駅広小路口、14時～

③次回事務局会議

11月30日(木)15:30～ 5階地評会議室

2) 介護をよくする東京の会

①事務局会議 10月11日(水)10:05～11:25 5階地評会議室

- ・10/9全国介護学習交流集会 400名参加
- ・介護学校は入学応募に留学生が10名超。日本人は2名
- ・11/11相談会のお知らせを世田谷では新聞折り込みで実施

②協議事項

- ・新署名が完成。目標50万筆。12月4日、12時～ 国会署名提出行動を予定。地元厚労委員へ紹介議員要請をして欲しい。
- ・10月27日、9時半～ 都民生活要求大運動実行委員会対都要請の当日質問分担と時間配分を確認
- ・介護保険制度の抜本改革提言の改定案が示された。意見を早めて寄せる。
- ・学習会を1月22日か24日に開催することで会場、講師と調整する。
- ・9期計画にむけての取り組みについて、意見交換を行った。
- ・11/11介護・認知症なんでも電話相談会への相談員派遣体制確認。医労連は4日の宣伝で地域に相談会チラシを配布する。

③次回事務局会議 11月8日(水)10:00～ 5階地評会議室

3) 生存権裁判を支える東京連絡会 <今月は会議なし>

- ・原告を励ますつどい 10月7日(土) 14～16時 地域保健企画ビル6階
原告6名、弁護士5名を含む40名が参加。その他原告からはメッセージ10通が寄せられ、人間裁判のビデオを上映。日弁連が提案している「生活保障法」の学習を実施。
- ・口頭弁論第16回 10月16日(月) 12時半～ 東京地裁前宣伝と傍聴行動、報告会
宣伝行動に50名が参加、署名1,461筆提出(累計31,749筆)、裁判傍聴83名(含む口頭陳述者3名)、報告会に65名参加。
- ・次回口頭弁論第17回 12月12日(火) 12時半～ 東京地裁前宣伝と傍聴行動、報告会

20231026第6回常任幹事会

- ・ 宣伝 11月18日(土)15～16時 高幡不動駅。次々回はスカイツリー駅前か？
- ①次回幹事会 11月8日(水)13時半～ 5階地評会議室

4) 消費税廃止東京各界連絡会 <この間は会議なし>

次回事務局団体会議・宣伝 未定

5) 東京高齢期運動連絡会 <今月は会議なし>

- ・ 「第36回日本高齢者大会 in 東京」を11月12～13日(月)に開催
大正大学(分科会)と文京シビックセンター大ホール(全体会)
- ①次回常任幹事会 11月21日(木)14:00～ 東部区民事務所

6) 都民連

①世話人会 10月23日(月)13:30～14:30 5階地評会議室

- ・ 9/19都議会開会日行動 111人参加
- ・ 9/4総会 17団体26人参加。総会議案提案承認。その後、内田聖子さんより「杉並区における公共の再生と地域主権をめざす取り組み」の講演。
- ・ 11/3にJアラートによる避難訓練を都と練馬区共催で初めて行う予定。
- ・ 都の公共スポーツ施設の利用料が興行利用は1.7倍なのに民間スポーツ団体は3倍に。指定管理に丸投げ。神宮問題にスポーツ団体としても取り組む。
- ・ 自治労連：30年ぶりの賃上げと言っているが、全国一低い額で平均3千円、高齢者千円。特定任用職員の登用などにより公務壊しが進んでいる。

②協議事項

- ・ 都議会開会日行動 12月5日(火) 4定の期間は12/20まで。
- ・ 都政の会学習会 10月30日(月)18時半～ エデュカス東京7階
「ジェンダー平等の社会の実現をめざして」 朝倉むつ子(早稲田大学名誉教授)
- ・ 福島原発事故訴訟支援：いわき市民訴訟団の最高裁宛署名に協力する
- ・ オスプレイはいらない東京大集会 11月26日(日)へ都民連から賛同金を支出する

③次回世話人会 12月8or11日 13:30～ 5階地評会議室

(4) 共闘団体など

・ 東京保険医協会

東京都と来年度予算で懇談をおこなった。都立病院独法化に関しては、都立病院で室料徴取の広がりが出てきている。従来通りで広げない様に要請した。コロナやインフルなど感染症が広がってきており、感染病床をはじめ都民のための病床を確保することを要請した。都は従来通りの予算を確保すると回答した。

3、会計報告

綴末資料

今月の収入について：9月に入って2回目の会費納入の請求書を送付したことから、今月は6団体から会費の納入をいただきました。これにより、当期会費納入率は金額で97.1%（残28万2千円）、団体数で84.0%（残12団体）となりました。会計年度末が11月に迫っているため、10月はじめにも未納入団体宛に会費納入のお願いを郵送しました。その他収入として学習会講師料がありました。繰入金含む収入累計は1,279万9,127円、執行率97.3%となりました。

支出について：今月の特徴的な支出は、ZOOM年間契約、ドメイン更新料、国保アンケート62通郵送代などでした。支出累計は670万2,536円、執行率62.1%となりました。

また、総会での予算提案にそって4月からの月次も参考として作成しています。

II、協議事項

1、情勢から

(1) 介護職の賃上げ、「月6000円」では不足 全老健が懸念

政府が介護職の処遇改善に向け、検討中とされる月6000円の賃上げについて、全国老人保健施設協会の東憲太郎会長は19日の会見で、それによって全産業平均と同等の賃上げになるかは疑問だとの認識を示した。物価高騰の影響なども考慮すると、「6000円ではとても足りないのではないか」と述べた。

政府は近くまとめる経済対策で、人手不足が深刻な介護職について、月6000円の賃上げを検討中だとされる。武見敬三厚生労働相は、介護職の賃上げは「月6000円程度が妥当」だとした。全老健など介護団体12団体はこの日、物価高騰対策や処遇改善を求めて、岸田文雄首相や萩生田光一自民党政調会長らに、要望書を提出した。要望書では、正社員・パートともに介護職員の離職が増えている状況を説明。今年の春闘で全産業平均の賃上げは3.58%だったため、介護職員と全産業平均の賃金格差が広がっていることを示すデータなどを盛り込んだ。

東氏は、首相と面会した際、「全産業平均（3.58%）と同等でなければ、人材の流出は止まらない」「改定から3年間継続して賃上げをするには、（物価高騰対応分を除いた）賃上げだけで5～6%必要」と訴えたという。具体的な金額は示していないとした。東氏によると、首相は現状の課題に理解を示し、「経済対策と補正予算で、まずはしっかり対応していく」と応じた。2024年度トリプル改定でも「継続的に賃上げができるよう考えないといけない」と話したという。（10/20付 メディファックス）

(2) 立憲「保険証廃止延期法案」提出 マイナンバーのトラブル相次ぎ

マイナンバーをめぐる相次ぐトラブルを受け、立憲民主党は先ほど、来年秋に予定している今の保険証の廃止期限を延長するための法案を提出しました。

マイナンバーカードと健康保険証が一体化された「マイナ保険証」をめぐるのは、他人の情報が誤って紐付けられるなどトラブルが相次いでいることなどから、利用率が5%以下と低迷しています。

こうしたなか、立憲民主党はマイナ保険証について「信頼が損なわれている」と指摘。▼マイナ保険証による資格確認が安全かつ確実に行われることや、▼高齢者や障害者などに支障を及ぼさないことなどが確認できるまで、今の保険証の廃止を延期するよう求めています。立憲民主党は、マイナ保険証と今の保険証の併用を継続するべきだと主張しています。(10/20付 TBS NEWS DIG)

…医療のところでは、保険証存続を大きな争点として総選挙では関わっていきたい。骨太2022, 23では財界からの強い要求が反映されている。2022年4月の時に国会答弁では、維新の質問に対して厚労審議官が「オン資格確認義務化は関係者の同意が得られるのが難しい」と答弁している。でも数カ月後に義務化を決めている。どう関係者の理解を得たのかということが、当日保険医協会から配布した資料の裁判のところ、裁判官がそのところの整合をとるように書面を出せといっている。財界利益との関係で胡散臭いところがある感じがする。追及をしていきたい。

駅頭とか病院の窓口で署名をやっているが、関心が高い。署名時にひとこと書いてもらっているが、切実な声が寄せられている。

学習会をやると、マイナカード返すとかいう人が現れる。学びたいという要求が強い。知れば、反対の声があがっているので、草の根的に学習会をやっていくことが必要。

保険者の方も資格確認証だすとか資格の通知を出すとか大変。患者も医療機関も誰も幸せにならない。やはり営利企業の利活用が目的だという気がする。

(3) 税・社会保障の一体改革で全世代型社会保障を 経団連提言

経団連は17日、税・社会保障の一体改革を通じた全世代型社会保障改革を実現すべきとした提言を公表した。20年後の2045（令和27）年を展望した医療・介護費の負担について、社会保険料とさまざまな税を組み合わせバランスの取れた仕組みが望ましいとしている。消費税率の引き上げは有力な選択肢の1つとしており、所得税における対応や資産課税のあり方の検討も求めた。

公正・公平な制度とするため、資産を含む高齢者の経済力を正確に把握し、負担能力に応じた負担に見直すことも求めた。提言は医療・介護を中心に社会保障給付の伸びが経済成長を上回っていると指摘。給付の適正化や効率化が進まなければ、現役世代・企業の保険料や公費の負担増に歯止めがかからず、成長と分配の好循環の実現を阻害するとの懸念を示している。

社会保障の給付と負担の新たな将来見通しを、骨太方針2024の議論が本格化する前に提示するよう求めたほか、2025年度中に税を含む全世代型社会保障改革のグランドデザインを描くことも政府に要望した。(10/23付 国保情報)

(4) 後期高齢者医療の窓口負担割合の見直しの影響について 厚労省保健局 資料：6

9/23の社会保障審議会医療保険部会で、短期的なデータ分析としながらも一人当たりの受診日数が統計学的に-2~-4.1%に収まっていると報告しました。

…具体的な現われは無いのか？民医連や高齢期運動のところで前に調査を行っている。実際にはいのちに関わる医療のところなので、受診抑制より他の生活の質で落とすことになっている。直接いのちに関わらない歯科のところで受診抑制が出ているのではないか？

2、当面の重点課題

(1) 東京社保協独自の取り組みなど

0) 東京社保学校の開催結果について

10/21に開催し、約70名(会場47名、オンライン19アクセス)の参加でした。

寺尾正之(公益財団法人日本医療総合研究所)講師による講義1:「全世代型社会保障構築」に向けた医療DXと医療・介護等の報酬改定は、90分で広範な内容のそれぞれの特徴を解りやすく学ぶことができたと思います。小川均(東京社保協)講師による講義2:新国保パンフと来年度からの東京都国保運営方針については、中央社保協が作成したばかりの国保パンフと東京の国保の現状、運営方針改定の特徴を説明し、今後の国保陳情・請願やパブリックコメントへの取り組みへの素材を提供しました。唐鎌直義(佐久大学)講師による講義3:日本の社会保障は高齢者優遇か?では、昨年の社保学校の資料の更新版が提示され、現役世代の社会保障も欧米に比べ貧弱であり、全世代型社会保障と言いながら実施されている施策とは真逆に、低賃金や労働環境の改善とともに社会保障制度の充実こそが国民生活の安定と安心につながることを明らかにしました。

感想文が13通寄せられ、どの講義も学びとなったようで好評でした。今回の経験や要望を活かしながら、2~3月の次回開催予定に向けた準備をしていきます。

…国保の話も分かり易かった。国保料がこんなに高いとは思わなかった。社保学校は録画しているので限定公開することはできる。唐鎌講師の棒グラフは解り易かった。

1) 都内医療提供体制の充実を求める

都立病院の充実を求める連絡会が、都立病院の現状とこの間のアンケート結果をまとめたビラなどを持って都議会各会派へ要請を行いました。立憲民主会派から議会で取り上げたいとの連絡があったそうです。

…各守る会で病院に今年度運営方針や予算、看護師確保、患者負担増、コロナ確保病床の状況などの問題について要請行動や情報公開を計画・実施しはじめている。各病室にトイレをつける改修工事がはじまっているが、それを口実に病床減の流れが行われるのではないか?医師確保できず、診療科が閉鎖されている問題もある。

それらも含めて独法化後にどうなったかをまとめて、学者の力も借りて冊子をつくり、来年の知事選に活かしたい。立憲議員が決算委員会で取り上げると言っているなので、その動向をチェックしたい。

2) 新生存権裁判東京 勝利に向けた取り組み

資料：7～13

秋から来春にむけて、おおきな山場を迎えるので、さらなる力の結集をお願いします。

10/2広島地裁で原告が12勝目の勝訴判決を勝ち取りました。これまで判決が出たのは22地裁、1高裁（大阪高裁は原告敗訴）です。いのちのとりで裁判は、11/30名古屋高裁、12/14那覇地裁、1/15鹿児島地裁、1/24富山地裁判決が予定されています。

東京では10/7に今期2回目の原告を励ますつどいを開催し、原告7名、弁護士5名も含めて40名が参加しました。また、欠席された原告10名からメッセージが寄せられました。日弁連が提案している「生活保障法」学習会、10/16に口頭陳述予定の原告からの報告、原告と弁護士への花束贈呈が行われ、裁判勝利に向けた1ステップとなりました。また開会時に、NPO朝日訴訟の会が作成した「炎の生 人間裁判-朝日さんが伝えたかったこと」の動画（21分）を上映して、改めてこの裁判の意義を確認しました。大変感動的なこの動画は、中央社保協のホームページから視聴できるので、ぜひご覧ください。

①宣伝行動への参加をお願いします

- ・ 11月18日(土) 15～16時 高幡不動駅
地域・近隣諸団体の協力もお願いします。

②結審です！口頭弁論

10/16の口頭弁論日には、地裁前行動に約50名、傍聴には83名（含意見陳述の原告3名。103号法廷は傍聴98席）の参加がありました。閉廷後の報告集会には65名の参加がありました。次回は結審となりますので、必ず弁論日行動に参加して頂き、傍聴席を溢れさせ、判決に向けて力の結集をはかっていく状況をつくりましょう。

- ・ 12月12日(火) 13時半開廷 結審
15時半～ 報告会 第1衆議員会館 第6会議室（予定）

***当日は、93歳の原告団長が弁論を行います。**

- ・ 来年3月までに判決（12/12に判決日決定）

開廷1時間前から地裁前で宣伝行動を行います。報告会は、裁判が長引いた場合は閉廷40分後から開催します。裁判傍聴、報告会、宣伝への可能な限りに参加をお願いします。

③最後です！署名の目標達成へ

加盟組織に7～9月期間集中で署名の取り組み強化のお願いと署名用紙を送付しています。再度、最後のお願いをする予定です。10/16の口頭弁論日には1,461筆を提出（累計31,749筆）しました。来年2月までに目標5万筆を達成させましょう。

3) 自治体への調査や自治体・議会への要請など

- ・ 都議会に「健康保険証の廃止中止を求めることに関する請願」（東京社保協）、「現行の健康保険証の存続を求めることに関する請願」（東京実行委員会）を提出しています。12月都議会開会前の委員会で審議となる予定ですので、注目ください。

20231026第6回常任幹事会

また、地域社保協では、運営協議会への傍聴をはじめ、国保料（税）の引き下げ、独自の減免拡充などとともに、現行通りの保険証（資格確認書）交付や短期証廃止に伴う対応（特別療養費の支給の通知）等について、自治体と懇談や議会への請願陳情をしてください。また、その状況を東京社保協にお知らせください。

- ・都民生活要求大運動実行委員会として提出した対都来年度予算要望への文書回答が9/29にありました。それを受けて項目を絞り、10/27都庁行動日（対担当者要請）を行います。全予算要望と回答は連絡便で送付予定です。資料：14～34
- ・来年度にむけて各自治体で様々な計画の案が出され、パブリックコメントが実施されます。ぜひ意見公募の情報をチェックして、積極的に意見を送付しましょう。

また、各地域社保協の取り組み状況をお知らせください。請願・陳情書なども含めて社保協間での交流を行っていきたいと思います。

現在、東京社保協として計画・課題としている調査・要請は下記の通りです。地域社保協や諸団体の協力もお願いしたいと思います。

①国保関連

- ・12月都議会提出予定の「高すぎる国民健康保険料（税）を引き下げ、誰もが安心できる国民健康保険制度の実現を求める請願」署名の取り組みをお願いします。各団体に注文枚数（未注文のところは、とりあえず100枚）の署名用紙をおろしました。

署名用紙残が約9千ありますので、積極的に注文をお願いします。

集約について：第1次集約を12月4日とします。その後、毎月曜を集約日として最終集約を1月末（委員会審議日によって変動）予定とします。前回の国保請願署名（2021年）21,119筆の到達でした。提出締め切り後にも3,549筆寄せられました。

- ・9月末締切として、国保アンケートを各自治体宛に送付し、現在25/62自治体から回答がありました。再度要請を行い引き続き回答を要請します。未回答の自治体には機会があれば地域からも回答するよう働きかけをお願いします。資料：35
- ・10～11月に東京都国民健康保険運営方針の改定（前回幹事会資料参照）についてのパブリックコメントが実施される予定です。10/21東京社保学校の資料などを参考に意見を提出してください。

②東京後期高齢者医療広域連合及び議会への働きかけ（再掲）

11月24日に定例議会が開催されます。東京高連とともに保険証廃止中止や保険料値上げ中止などで広域連合や議会へ要請・陳情を行っていく予定です。

また、地域社保協は、地元出身議員とつながりをつくってください。

③介護関連

- ・介護をよくする東京の会は、介護改悪・報酬改定・9期事業計画などについての学習会を1月22日か24日に開催することで会場、講師と調整しています。
- ・東京都が「介護報酬改定等に関する緊急提言」を作成し、国に要請しています

資料：36～50

- ・第9期 介護保険事業計画の課題 学習会 講師：安達智則(東京自治研主任研究員)
12月3日(日)14時～ 文京区民センター2A会議室 資料代 千円 資料：51

…文京区で、介護老人保健施設が3つあるが、連名で「減収補填」の議会請願をうち2つ連名で行った。厚生委員会で否決されたが、その質疑のなかで文京区は東京ドームにはコロナ禍による減収補填したという話がされた。文京社保協で論議してこの問題を追及していきたい。

4) 「4の日」宣伝 (Since2017年2月～) など

①東京社保協・中央社保協の共同での「4の日宣伝」

- ・10月は20名参加し、署名39筆が寄せられました。

次回は11月14日(火)12時～、巣鴨駅前 で開催しますので、ご参加ください。

②各地域社保協での独自・共同宣伝 (再掲)

9の日宣伝、25日宣伝や消費税宣伝に諸団体と合同しての実施も含めて、地域社保協として計画してください。中央社保協が各種プラカード案を作成しています。

5) 学習会の開催について (再掲)

- ・来年度の医療・介護報酬、制度改定を意識して各地域で学習会等の開催を旺盛に進めてください。地域社保協へは講師料・会場費などへの援助を年間1万円まで/団体をします。積極的に活用してください。

(2) 中央社保協の取り組み関連

1) 全国署名など社会保障制度充実

資料：52～60

- ・10/19いのちまもる総行動には、全国から3,100人(会場とWeb)が参加し、集会後にはデモ行進を行いました。
- ・中央社保協が「安心できる国保のために」学習パンフレット(1部50円)を作成しました。東京社保協では、千部購入し、加盟団体に連絡便で見本として10部ずつ送付します。ぜひ、追加注文(用紙は資料参照)していただき、普及・学習してください。
…パンフレットはまだ在庫があるので東京社保協に申し込んで欲しい。

- ・「軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める請願」署名の提出行動

11月2日(木)12時～ 第2衆議員会館多目的室

中央社保協から全国議員に紹介議員要請を送付していますので、地元の国会議員を訪問してさらに紹介議員要請を行ってください。

- ・地域医療を守る運動 全国交流集会

11月23日(祝)13時～ 東京ビックサイト6階会議室 + Web

参加費千円、Webは無料

都立病院の充実を求める連絡会が独法化とその後について、地域からの報告をします。

・第2回国保改善運動学習交流集会

12月17日（日）10時～ けんせつプラザ東京

・介護関係

- ・10/9全国介護学習交流集会には、400人超（会場とWeb）が参加し、来年度の介護制度改悪や報酬改定の内容について学ぶとともに、現場から物価高騰や人手不足で困難になっている報告などが行われました。昨年の運動成果を確信に、来年度から企まれている介護制度改悪をストップさせるために、昨年以上の署名や運動に取り組むことが提起されました。

・新介護署名

新署名用紙を加盟団体へ連絡便で送付しました。来年通常国会初頭を集約期限としています。

中央社保協から厚労委員の国会議員に紹介議員要請を送付していますので、地元の国会議員を訪問してさらに紹介議員要請を行ってください。

・第13回 介護・認知症なんでも無料電話相談

11月11日（土）10～18時 電話：0120-110-458

各団体におかれましては、発行のニュースなどで構成員に周知するとともに、チラシやポスターを活用して広範に知らせてください。

・この間、共闘して活動しているケア社会をつくる会がオンラインシンポを行います

11月21日（火）16時半～19時半 介護保険は崖っぷち 要参加申込

・今こそ、18歳までの医療費無料を国の制度に！

シンポジウム 12月2日（土）13時半～ Web開催のみ

2) マイナンバーカード問題

資料：61

- ・臨時国会へ立憲民主党がマイナ保険証への統一を高齢者や障害者が問題なく使え、国民の理解得られるまで延期する法案を提出しました。

・「現行の保険証を残してください」請願署名合同国会提出行動

11月16日（木）11時半～13時 第2衆議院会館 多目的室

署名は、11/14東京社保協事務局必着で送付いただくか、当日持参下さい。

- ・東京保険医協会が島嶼を除く9月自治体議会へ提出した請願・陳情が採択され、国へ意見書を提出したのは、調布市と小金井市のみでした。全国では87市町村が意見書を採択（保団連調査・ホームページに掲載）しています。

…先月以降、三鷹、東村山は本会議で不採択となった。三多摩では委員会採択6自治体、うち意見書採択2自治体となった。国分寺では紹介議員10筆集まったので、請願

としてこれから審議される。23区は渋谷で委員会採択、本会議では維新も賛成したが、1票差で不採択となった。

当日資料：67～73

- …不採択の一番の理由は？葛飾では、立憲会派から医療DXが医療の質の向上につながるの、今後の推移を見守りたい。自民・公明は国が決めた事でちゃんとやるから大丈夫、見守りたい。資格確認証を準備しており、国民皆保険は維持できるので、今後の推移を見守りたい。大田でも。立川では、公明議員が医療・薬剤情報が見られるので、良いのだということで賛成している。しかし情報の更新は最短でも1カ月半後で医療機関では使えない。
- …立川では都議補選があり、自民が破れ立憲と都ファが当選。立憲議員は厚生委員会へ行きたいと言っていたので、そうなれば要請に行こうと思う。

3) 改憲阻止、核兵器禁止にむけた取り組み（再掲）

- ・引き続き「憲法改悪を許さない全国署名」「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」を広げ、諸団体とともに9, 25日宣伝に取り組みましょう。
- ・「第14回横田基地もいらない！沖縄とともに声をあげよう 市民交流集会」
10月29日（日）10時～ 福生市民会館大ホール
- ・11月3日（金）憲法大行動 13時45分～ 国会正門前
- ・日本平和大会 in 鹿児島
11月11～12日（日） 鹿児島市内
- ・横田基地にオスプレイはいらない東京大集会
11月26日（日） 13時半～ 多摩川緑地福生南公園

4) 第36回日本高齢者大会 in 東京 +Web（再掲）

資料62～65

- ・加盟組織においては、日本高齢者大会への参加組織をお願いします。
- ・11月12日（日）13時～ 学習講座・分科会 大正大学
13日（月）10時15分～ 全体会 文京シビックセンター大ホール
記念講演「非戦の安全保障論…戦争しない国であり続けるために」
柳澤 協二さん（元内閣官房副長官補、新外交イニシアティブ理事）
- 参加目標 会場 全体会 1,800人、分科会 1,700人（東京とともに1,200人）
Web “ 2,000人、 “ 1,000人（東京で500人、300人）
- 参加費 3,000円/日、6,000円/2日
- 申し込み 8/1から受付開始 締切1次 9月末、2次 10月1日以降直前まで
- …現在東京からは568名（延べで702名）の参加状況。まだまだなので、ぜひ参加を呼びかけて欲しい。
- ・東京社保協は第10学習講座の運営を担当することになりました。
11月12日（日）13時30分～ 「マイナンバーカードで国民管理？」
稲葉 一将 名古屋大教授

20231026第6回常任幹事会

14時45分～ 「インボイスとは何か？私たちの生活にどう影響するか？」
佐伯 和雅 税理士

- ・当日、会場での受付は東京土建から派遣して頂くことになりました。

5) 第68回日本母親大会 in 山口 +Web (再掲)

- ・11月25～26日(日) 全体会 「あらたな戦前に抗する」
清末 愛沙 室蘭工業大学教授
東京のオンライン参加者目標は600名です。

6) 第56回東京母親大会 (再掲)

資料66

- ・12月16日(土) 10～16時 町田市民ホール
全体会記念講演 「憲法・民主主義・暮らし」 五野井郁夫 高千穂大学教授
なお当日は、第5分科会で東京社保協から窪田事務局長と前沢常任幹事がパネリストとして参加します。

3、当面の取り組みについて

1) 第2回地域社保協交流会の開催について

締切までに回答は3名のみで、11/17に2名が参加できるとの事でした。当日はラパス会場の確保ができないため、持ち方も含めて改めて開催を検討することとします。

…持ち方について要望・意見があれば出して欲しい

4、決裁事項

- ・ファックス複合機 イメージドラムユニット ID-C4MA 21,600円
…承認

5、要請事項、その他

(1) 加盟団体・友誼団体の学習会、総会あいさつなど

- | | | | | | |
|-----|--------------|-----------|------------|----------|----|
| 10月 | 27日(金)18:30～ | 板橋区労連 | マイナ保険証学習会 | 東京土建板橋支部 | 窪田 |
| | 28日(土)14:00～ | 多摩社保協 | マイナ保険証学習会 | 南多摩教育会館 | 窪田 |
| | 29日(日)10:00～ | 都生連第61回大会 | 赤羽会館4階大ホール | | 窪田 |
| 11月 | 04日(土)14:00～ | こまえ社保協総会 | 東京土建狛江支部会館 | 小川 | |
| | 15日(水)18:30～ | 江東社保協 | マイナ保険証学習会 | 東京土建江東支部 | 窪田 |

(2) 当面の日程

- | | | | | |
|-----|--------------|----------------|--------|-------|
| 10月 | 27日(金)09:30～ | 都民生活要求大運動実行委員会 | 対都要請行動 | 2庁ホール |
|-----|--------------|----------------|--------|-------|

20231026第6回常任幹事会

- 11月01日(水)10:00～ 中央社保協第4回介護・障害者部会
13:30～ 中央社保協第4回運営委員会 医労連会館2階+Web
02日(木)12:00～ 社会保障の拡充を求める請願署名 国会提出集会
第2衆議員会館 多目的室+YouTube配信
08日(水)13:30～ 生存権裁判を支える東京連絡会幹事会 5階地評会議室
11日(土)10:00～ 介護・認知症なんでも電話相談会 5階地評会議室
12日(日)13:00～ 日本高齢者大会in東京 学習講座 大正大学1041教室
13日(月)10:15～ // 全体会 文京シビックセンター大ホール
16日(木)11:30～ 健康保険証の存続を求める国会内集会
第2衆議員会館 多目的室+YouTube配信
23日(木)13:00～ 地域医療を守る運動全国交流集会 東京ビックサイト6階会議室
30日(木)13:30～ 東京社保協第53期第7回常任幹事会
15:30～ 人権としての医療介護東京実行委員会(予定)
12月02日(土)13:30～ 18歳までの医療費無料を国の制度に シンポ YouTube配信

(3) 常任幹事会の日程(定例日:毎月第4木曜日) **第4木曜日が祝日のため**

次回 11月30日(木) 13:30～ 5階東京地評会議室とオンライン